

生産性向上支援訓練の活用事例

＜組織マネジメント分野＞

【利用事業所】 社会福祉法人 一燈園

老人ホームや介護保険サービス等を行う
総合社会福祉施設
(別府市内29事業所を展開)



訓練受講のきっかけ



職員のやりがいや働きがいを感じられるようにと、目標管理制度を導入したのだが、職員にはやらされ感があった。
この制度を組織内に浸透させ、有効に活用できるようにしていくためにどうすればよいか模索中のところ、ポリテクセンターより生産性向上支援訓練の案内があった。

要望



- ・目標について数値化できないものが多く、目標の設定方法や評価方法等、考え方にばらつきがあるため、組織として統一したい。
- ・福祉の分野だけでなく、広義な目標管理についての知識を習得させたい。
- ・実際に使用している目標管理シートをグループワークにて活用したい。

訓練の実施



- 【訓練コース】 「組織力強化のための管理」
- 【対象者】 中堅層～管理者層（施設の課長、係長、主任等）
- 【主な内容】
- ・組織目標と目標設定方法
 - ・数値化できない目標に対しての評価基準
 - ・部下とのコミュニケーションと目標達成への支援
- 【実施時期】 平成30年8月

受講した感想

事業主の声

受講前には、何度も打合せをしていただき、役職者50名が受講しました。手探りながら行ってきた目標管理の裏付けができ、職場内のコミュニケーションがとても重要であることが再確認できました。

今後は、目標管理を通して、職場内のコミュニケーションが活発になり職場の活性化、職員の質の向上につなげていきたいと考えています。



受講者の声

目標を設定する際に、私たちの仕事は、具体的な数字で表せるような業務ではなく、目標をどのように設定すればよいのか、評価をどのようにするのか、どのようにすれば達成感を感じられるのか、など答の出ない気持ちを抱えていました。

訓練を受講し学んだことは、目標に対する考え方はとてもシンプルで一燈園の理念（理想）を達成するためにどのように部署、個人が考えるか、数字で表せない場合は、サブ目標を立てて実行できるようにしていくというものでした。今後、目標進捗を確認していくという作業がありますが、職員の頑張りを認めていけるような言葉を発信していきたいです。